

■施策評価シートの記載について

名古屋港中期経営計画 2023

施策1 国際・国内海上輸送機能の強化

施策の展開

- 船舶の大型化等に対応するため、カントリークレーンの整備やターミナルの拡張など、コンテナ取扱機能のさらなる強化を図るとともに、航路の機能維持・強化への取組をすすめます。
- 国際競争力を維持・強化しながら、港湾機能を長期的・安定的に維持していくため、継続的にしゅんせつを行います。
- 名古屋港の立地優位性を活かし、官民一体となった国内外へのポートセールスや、船社や荷主のニーズを的確にとらえたインセンティブを行うことにより、集積・散積拡大への取組をすすめます。
- 安全で効率的な港湾の利用を促し、円滑な港湾の利用に寄与するため、入出港する船舶への情報提供等を行います。

施策1を推進する事務事業

国際・国内海上輸送機能の強化

- 船舶の大型化等に対応するため、カントリークレーンの整備やターミナルの拡張など、コンテナ取扱機能のさらなる強化を図るとともに、航路の機能維持・強化への取組をすすめます。
- 国際競争力を維持・強化しながら、港湾機能を長期的・安定的に維持していくため、継続的にしゅんせつを行います。
- 名古屋港の立地優位性を活かし、官民一体となった国内外へのポートセールスや、船社や荷主のニーズを的確にとらえたインセンティブを行うことにより、集積・散積拡大への取組をすすめます。
- 安全で効率的な港湾の利用を促し、円滑な港湾の利用に寄与するため、入出港する船舶への情報提供等を行います。

施策評価シート

対象事業年度 令和 6 年度

政策		施策推進責任者		政策〇:〇〇 〇〇
施策				

1. PLAN (目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	意図(どういう状態にしたいのか)
	サービスの対象物(何を)	
展開		

施策2

2. DO (施策を構成する各事務事業の取組内容等)

コード	事務事業名 (担当課名)	令和6年度に実施した内容・結果	成果目標名 【指標型】	成果目標	年度							事業進捗 状況(6年 度)	令和6年度の事業進捗状況に対する評価	7年度 以降の 方向性	成果 コスト	今後の課題等	7年度以降の取組
					元	2	3	4	5	6	7						
					上段: 成果目標 目標値												
					中段: 成果目標 実績値												
					下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)(単位: 千円)												
								1						2			

3. CHECK (成果目標の状況・構成事務事業の妥当性)

施策 成果目標	実績等	年度							成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				3					4

※ 仮目標値 = $\frac{\text{初期値(30年)} + \frac{\text{目標値(5年)} - \text{初期値(30年)}}{5\text{年間(中期経営計画期間)}} \times 30\text{年からの経過年数}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)

適正・見直しが必要

5

1. PLAN (目的・展開内容)

中期経営計画で定めた施策として、期間中に取り組むべき内容を展開に分類して記載しています。

2. DO (施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

施策を構成する各事務事業の評価を記載しています。

1 事務事業ごとに設定した成果目標の令和6年度目標値に対する実績値によって取組状況を検証しています。また、事業費を参考として記載しています。

2 1の令和6年度の状況によって、令和7年度以降の方向性を判定しています。

3 中期経営計画2023で設定した施策の成果目標について、令和7年度の目標値と実績値を記載しています。

4 3の目標値に対する達成度について、外部要因等を踏まえ、成果目標の達成度を評価しています。

※1 評価方法の詳細については、次ページを参照してください。

※2 「施策評価シート」は、中期経営計画2023に掲げる事務事業に加え、その他必要と判断された事務事業を対象としています。

5 施策を構成する事務事業に不足がないか、事務事業に重複があるなどの問題がないかを検証しています。

4. ACTION (課題・令和7年度以降の取組)

4~5を総括して施策実現に向けた課題や新たに予測される課題を抽出し、その課題解決に必要な対応について記載しています。

[illegible][illegible]

--	--	--	--

成果

最適点
成果維持・コスト維持

成果縮小・コスト縮小
資源（財・人）の投入を縮小し、一時的に取組を縮小する。廃止もしくは、段階的縮小を検討する必要がある。

成果維持・コスト縮小
資源（財・人）の投入を減らしながら、取組を継続し、成果を維持する必要がある。

成果拡大・コスト拡大
資源（財・人）の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。

成果拡大・コスト縮小
取組強化のなかで、効率性を高める改善によって資源（財・人）の投入を減らしながら、成果をあげる必要がある。

成果拡大・コスト維持
資源（財・人）の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。

コスト